報道関係者各位　※このリリースは国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会に配信しています

全国で「人」と「人」つなぐ【仮り住まいの輪】始動

不動産・建築業界関係者有志がツイッター上の呼びかけで集結し、**東日本大震災被災者のための住宅提供プロジェクト【仮り住まいの輪】が発足**しました。同プロジェクトでは**本日、避難所を出て暫定的な住宅を必要とする被災者と支援したい個人（不動産オーナー）とを結びつける、住まい探し・住まい提供プラットフォームを立ち上げます。**単なるハコ貸しにとどまらず支援したい「人」などの顔が見える仕組みや、被災者やその親族・知人らが必要な住宅要望を寄せたり、住宅以外の物的支援（布団や家電など）サポートを書き込める掲示板機能なども順次、付与していく予定です。

未曾有の被害から約３週間、東日本大震災被災者向け仮設住宅建設が本格化していますが、整備の長期化と供給不足は避けられそうにありません。【仮り住まいの輪】の構想は、全国で４００万戸を超える民間賃貸住宅の空室、住宅需給ミスマッチによる大量の空き床など、既存ストック住宅を個人所有者の『善意』で仮住まいとして活用することです。

ホームページに提供者、被災者がそれぞれ自身の情報を登録し相手を探す仕組みで、家賃の発生しない『使用貸借』かつ、１～３ヶ月の短期契約（仮住まい）が基本。推奨される契約書式やガイドライン等を掲載し、紛争防止を図ります。

【仮り住まいの輪】　利用者と利用方法イメージ

＜被災者に仮住まいを提供したい不動産オーナー＞

●提供できる物件情報と条件などを登録できる
●被災者らが登録した「借りたい」情報に対し、直接提供を申し出ることができる
●対象は自宅の１室から賃貸住宅の空室ほか、寮・社宅なども

＜他地域で再出発に挑戦したい被災者の方＞

●登録された物件情報に入居希望を申込みできる
●「こんな部屋が借りたい」希望条件を登録できる
●被災者同士の情報交換ができる

＜他地域に避難してくる被災者を支援したい＞

●被災した親類・友人などに物件情報を知らせ呼び寄せる
●呼び寄せたい親類・友人に代わり、希望条件を登録できる
●避難してくる被災者に対し寝具や家具など生活物資の提供ほか、仕事の紹介や介護、カウンセリングといったサービス提供を申し出ることができる

【仮り住まいの輪】　特徴

＜住居タイプ＞

●ホームステイ（間借し）タイプ／１ヶ月以内
●賃貸住宅タイプ／３ヶ月以内
●その他（個人別荘や寮・社宅など）

＜契約形態・賃料＞

●家賃の発生しない使用貸借契約
●賃貸住宅タイプの場合、賃料ほか、敷金・礼金（保証金）・仲介手数料無料
●水道・光熱費等の実費は借主負担（原則）

＜期間＞

●１～３ヶ月の期間を区切った契約を推奨
●当事者双方が契約期間を合意した場合、新に契約

【仮り住まいの輪】　の安心

＜ガイドライン＞

●提供者用・被災者用ステップ別マニュアル

＜お互いの顔が見える情報＞

●提供者・被災者のメッセージや提供できること（希望すること）、人柄のわかる情報などを掲載項目に

＜書式雛形など＞

●契約チェックシート
●タイプ別使用貸借契約書式
●借家を間貸しする際の所有者承諾書
●管理者への事前報告書
●賠償保険取扱い業者一覧表　など

【仮り住まいの輪】　とは ⇒ http://karizumai.jp/

発起人、中谷ノボルの『阪神大震災復興支援の経験と反省を活かし、不動産・建設業界人である私たちが今、専門家としてできることに力をあわせて取り組もう！』という呼びかけに賛同し集結した、業界関係者有志による組織や立場を超えたプロジェクト。
実行委員会メンバー／大島芳彦、石井健（ブルースタジオ）・北川大祐（ひつじ不動産）・長嶋修、大西倫加（さくら事務所）・矢部智仁、島原万丈（リクルート住宅総研）・吉里裕也、林厚見（東京Ｒ不動産）・武部裕行（リノベーション住宅推進協議会）・根井真（弁護士）・泉正人（ファイナンシャルアカデミー）　ほか多数

【仮り住まいの輪】 実行委員会 PR 事務局　株式会社さくら事務所 内／東京都中央区日本橋茅場町 3-12-9　NI ビル 3F
TEL 03-3661-5277　FAX　03-3661-5285　大西　倫加　press@sakurajimusyo.com　080-4142-4887